

立教大学 映像身体学科 佐藤一彦 / 石原芳秀 クラス 2009年度 卒業制作作品展

Rikkyo University Department of Body Expression and Cinematic Arts
Graduation production exhibition 2009 by members of Kazuhiko Sato / Yoshihide Ishihara class.

身体は映像を触発し、映像は身体を呼び醒ます。

激動する世界、混迷を深める日本。その中で映像や画像、言葉や文字をツールとする「思索と表現への道」もまた多くの難題をかかえ込んでいます。従来の既存メディアが次々と疲弊・後退を余儀なくされる今、世界を見つめ、社会を探り、自己を表現する道はどこへ向かうのか？立教大学現代心理学部映像身体学科の1期生たちが生み出した答をご覧ください。

2010.1.20 (wed)

10:30-18:00

SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ

* 入場無料。途中入退場自由、休憩あり

* 駐車場あり（有料：1時間200円）

◆ 主催：佐藤一彦 / 石原芳秀 クラス 2009 年度卒業制作作品展実行委員会

◆ 協力：SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ



*会場までの詳しい交通案内についてはウェブサイトをご覧ください。 <http://www.skipcity.jp>

立教大学 映像身体学科

佐藤一彦 / 石原芳秀 クラス

2009年度 卒業制作作品展

2006年春、立教大学に新しい学科が誕生した。その名は映像身体学科。そして2010年冬、本学科初の卒業制作作品のうち、佐藤一彦・石原芳秀教授の指導のもと制作された作品18点が展示・上映される。激動の時代を迎えるコンテンツ産業の中で、どのように創造し、どのように表現すべきか、新しい世代の表現者たちが向かい合う姿が、そこにある。

ドキュメンタリー映像作品

- 石橋迪也 『秩父事件 ～自由への走～』
- 今井萌 『私とバルトと2009・東京』
- 梅田由貴 『よさこいおかん
～YOSAKOIソーランにかける奥州の志士たち～』
- 遠藤和真 『歩道橋、ぼくの東京』
- 折坂美帆 『夕映えの道化師
～ジョルジュ・ルオー作「ピエロ」をめぐる旅～』
- 小池奈々 『富士山 ～山と人と水と～』
- 曾根真弘 『自分に問いかける書 相田みつを』
- 橋本昌幸 『映像論文 縦シネマ』
- 橋本玲奈 『teta Ol' ga ～オルガおばさん～』

グラフィック作品

- 荒井由梨 『ai-del ～藍で見る身体～』
- 尾下沙穂 『歩いた・見た・聞いた 宮本常一
～16万キロを歩いた旅人の「眼」と「手法」～』
- 田口美里 『kabu-robo』
- 田部沙耶香 『日本人の身体 ～失われたもの・回復されるもの～』
- 林田むつみ 『あかり ～火と日が織り成す日本文化～』
- 原田香澄 『TOKYO 変わりゆく風景、遺された記憶。』
- 原田茉莉 『江戸女人見聞録』
- 福井真優子 『音の旅人 ラフカディオ・ハーン』
- 増田勇人 『越前和紙 ～紙を活かし、紙と生きる～』

◆佐藤一彦（立教大学 映像身体学科教授）

4年前にスタートした我が映像身体学科もやっと1期生を送り出すことになりました。けれどそう思った矢先の経済不安。新卒雇用の崩壊。メディアも大激変を迎えています。しかし映像身体学科がめざそうとしたことは今回発表された彼らの作品の中にみごとに結実しています。映像は「世界を見つめ、発見を促し」、グラフィックを通じた「身体への接近」は「私たちが暮らす社会や自己への関心領域を確実に拡大した」はずです。いっばうでカメラやコンピュータを表現への道具として使い切る能力も新参の表現者として十分なレベルに手が届いたと思っています。これから生まれ出るであろう新たな時代への「表現」へ向けて、各自の発表成果が大きなスタートとして役立つようお願いばかりです。

◆石原芳秀（立教大学 映像身体学科特任教授）

映像身体学科誕生とともに入学して4年。そのイロハもわからないまま始めた、ままごと遊びの様だった創作活動が、4年間学んで、ここに卒業制作作品として結実しました。今回の卒業制作では初めて「制約」の中での創作作業という、「仕事」のかたちに近い創作作業になりました。作品を完成させる事の大変さを経験し、完成させた満足感もあるでしょう。しかし、これはまだ「はじめの一步」に過ぎません。この厳しい時代、その荒波に飛び込んでいこうという、夢多き若者たちの熱い息吹を感じてください。

TIME TABLE

10:30	開場
11:00	第一部開幕
11:10	『秩父事件 ～自由への走～』 『私とバルトと 2009・東京』
11:55	『富士山 ～山と人と水と～』 『よさこいおかん ～YOSAKOIソーランにかける奥州の志士たち～』
13:00	『歩いた・見た・聞いた 宮本常一 ～16万キロを歩いた旅人の「眼」と「手法」～』 『日本人の身体 ～失われたもの・回復されるもの～』 『音の旅人 ラフカディオ・ハーン』
13:15	昼休み
14:00	第二部開幕 『映像論文 縦シネマ』
14:35	『TOKYO 変わりゆく風景、遺された記憶。』 『あかり ～火と日が織り成す日本文化～』 『kabu-robo』
14:50	『歩道橋、ぼくの東京』 『自分に問いかける書 あいだみつを』
15:45	『越前和紙 ～紙を活かし、紙と生きる～』 『ai-del ～藍で見る身体～』 『江戸女人見聞録』
16:00	休憩
16:20	『teta Ol' ga ～オルガおばさん～』
17:05	『夕映えの道化師 ～ジョルジュ・ルオー作「ピエロ」をめぐる旅～』
17:40	指導教員からの言葉
17:50	閉幕

* 上映時間が変更になる場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

【会場】SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ

〒333-0844 埼玉県川口市青木 3-12-63

<http://www.skipcity.jp/>

